

令和6年2月9日  
(2024年)

保護者の皆様

吹田市立千里丘北小学校  
校長 小林 大介

## 「千里丘北小学校についての学校アンケート」の結果報告について

立春の侯、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に行いました学校教育自己診断(「千里丘北小学校についての学校アンケート」)では、ご回答に協力いただきありがとうございました。アンケートの集計及び結果の分析について、以下の通り、ご報告させていただきます。なお、アンケートの結果については教職員で共有し、今後の学校教育に活かしていきたいと存じます。

### 1、評価の方法について

保護者の皆様を対象に実施したアンケートは、①～⑫までの設問を『学校の教育活動に関するもの』⑬～⑲を『学校経営に関するもの』と分類しております。

アンケートを分析するにあたり保護者向けのアンケートにつきましては「そう思う」「どちらかというと思う」という回答を肯定的な評価として判断し、肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足していただいている」と判断しております。

また、児童向けのアンケートでは低・中・高学年用に分けて実施いたしました。なお、保護者向けと同様に肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足している」と判断しております。

保護者・児童の両アンケートにおいて80%未満のものにつきましては、特に今後の学校教育活動の中での工夫・改善点として判断しております。

### 2、アンケートの結果と考察

#### 【保護者アンケート】回答数650通

##### ○結果

全体の概要としてすべての項目において、概ね満足していただいている数値が昨年度より上がっていました。アンケート全19項目のうち、17項目について概ね満足していただいているという回答をいただきました。

『学校の教育活動に関するもの』からは「2.学校は、学校だより等で教育方針や教育内容をわかりやすく伝えている」「4.子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」「6.学校は保護者の相談(懇談など)に応じている」「7.学校行事は、子どもが楽しく意欲的に活動できるよう工夫されている」「8.学校は、自分の生き方を考え、豊かな心思いやりの心を持った子どもを育てている」の項目で、肯定的回答の割合が昨年度より大きく上回りました。その中でも特に「2.学校は、学校だより等で教育方針や教育内容をわかりやすく伝えている」の項目で、「そう思う」の回答が43%で昨年度を5%上回り、肯定的な回答が89%となりました。「6.学校は保護者の相談(懇談など)に応じている」の項目で、「そう思う」の回答が52%で昨年度を4%上回り、肯定的回答の割合が90%となりました。

その他の項目については、昨年度と同等の結果が得られましたが、「3.この学校は、他の学校にはない特色ある教育活動に取り組んでいる」の項目では、肯定的な回答は70%と、80%を下回りました。

『学校経営に関するもの』からは、「13.学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている」「16.学校では、授業参観を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている」の項目で、肯定的回答の割合が大きく上回りました。その中でも特に「16.学校では、授業参観を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている」の項目で、「そう思う」の回答が56%で昨年度を12%上回り、肯定的な回答が89%となりました。「19.学校のサポートチーム活動

やPTAの活動に参加したことがある」の項目では、肯定的な回答が61%と、昨年度より10%上回りましたが、全体の6割ほどとなりました。

### ○考察

たくさん項目で肯定的回答の割合が昨年度より大きく上回ったのは、コロナ禍で制限のあったことが緩和され、コロナ前の授業スタイルに戻ったり行事が復活したりする中で、保護者の方に学校に来ていただく機会も増えたことがこの結果につながったと思われます。特に「授業が楽しくわかりやすい」「学校行事は、子どもが楽しく意欲的に活動できる」と思っていただけしていることは、大変喜ばしいことで、今後も子どもたちがより一層、学校で楽しく過ごせるよう努めてまいります。

また、さくら連絡網が導入され、全校一斉にお手紙の配信ができるようになり、「学校だより」をはじめ各種プリントを確実にお手元に届けられるようになったことやいつでも読めるようになったことで、学校の様子も知っていただきやすくなったことも一因であると考えております。

### ○自由記述欄でのご意見について

自由記述欄にいただきましたご意見について、お答えします。ご意見のすべてにはお答えできませんが、ご了承ください(□はいただいたご意見、■はそれに対する回答です)

- 在籍人数が多く、学びやすい環境になっているか不安です。
- 少人数のクラスで学級運営を行うことが理想ではありますが、国から示されている学級設置基準の範囲内でクラス編制をすることになります。1クラスの児童数を減らすことはできませんが、教科担任制をはじめとして様々な方法で児童をきめ細かく見ていけるように工夫をしていきます。
- 学校に通級指導教室を設置してほしい
- 現時点では次年度の通級指導教室設置の予定はありませんが、吹田市では全小学校に通級指導教室を設置する計画であり、いずれ本校にも設置されるものと考えております。
- 運動会やマラソン、冬場の外での体育などグラウンドを使用した運動機会が圧倒的に少なく感じます。放課後のグラウンド使用など運動機会を増やす取り組みを充実させてもらいたいです。生活環境を見ても世間一般より運動機会が少ない子が多く学校が数少ない機会です。
- 新型コロナウイルスに係る様々な制限の影響で運動機会が減り、体力・運動能力が低下していることは大きな課題だと認識しています。さまざまな制限が緩和されてきていることを受け、適切な運動機会を提供していきたいと考えております。
- オープンスクールなどコロナ渦以前のたくさんあった行事が戻ればいいなと思います
- 新型コロナウイルスの5類移行後、できるだけ今までの教育活動に戻していく努力をしていますが、授業時数の確保の観点から行事の精選もまた必要な課題となっています。この両方を踏まえながら行事を実施していきたいと考えています。
- 運動会を全学年一緒に実施してほしい。
- 昨年度は中学校をお借りして全校での実施をしましたが、往復の経路や放送設備の課題、中学校も体育授業があるので、現地での練習を何回もできないなどの理由から難しいという結論になっています。私たち教職員も全校実施をしたいと考えていますが、しばらくは今年度のような二部開催という形式をとらざるを得ません。このような形は本校だけではなく、運動場が比較的狭い市内の大規模校でもとっています。ご理解ください。
- 宿題の在り方について今一度議論して頂きたい。一律の漢字の書き写し練習は、効果があるとは思えない。
- 宿題の内容ややり方についてはいろいろな考え方があることと思います。その日授業で習ったことを定着させることを目的に出すのが宿題ですが、より効率的・効果的に実施できるよう検討していきたいと思っております。また、宿題は原則児童全員に同じものが出していますが、適切な量というのはその子、子によって違います。どうしても負担に思うようなことがあれば担任までご相談ください。
- 放課後補習教室、自主学習教室などの充実やシルバー人材を雇って、太陽の広場の頻度を増やしてほしい。

- かなり以前では放課後に児童を残して勉強をみるというようなことをしていましたが、現在では児童の放課後の生活が忙しくなっていたり、教職員も放課後に会議や研修、翌日の授業準備等があったりで学校として補習クラスを運営するのは難しいのが現状です。太陽の広場はフレンドさんが不足しているため多頻度で開催できていませんが、市の事業として実施しているものなので人材雇用等は学校では単独では実施できません。ご理解ください。

あそびのひろば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生方は大変忙しい中、いつも丁寧な指導、対応ありがとうございます。行事などについても、大変な時期にも関わらず、いつも工夫されながら運営してくださり、子どもも意欲的に取り組んでいます。今後もよろしくお願いします。</li> <li>・ 先生方のご指導のおかげで、子どもは毎日友達と遊び、楽しそうに通っております。ありがとうございます</li> <li>・ 息子は楽しく学校にいらしているので、満足です。</li> </ul>
---------	--

## 【児童アンケート】

### 低学年 回答321(無回答含む)

#### ○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。「がっこうへいくのがたのしい。」「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」「せんせいはがんばったときほめてくれる。」「がっこうでのルールをがくしゅうしている。」「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい。」「がっこうではいのちのたいせつさやひとへのおもいやりをがくしゅうしている。」「がっこうではじけん・じしんやかさいなどがおこったときどうしたらいいかがくしゅうしている。」「がっこうにはよくあそんだりはなしたりするともだちがいる。」「こうちょうせんせいのおはなしはわかりやすい。」「じゅぎょうでアイパッドをつかっている。」「がっこうでおうちのひとやちいきのひとといっしょにがくしゅうをすることがある。」「あゆみはわかりやすい。」といった項目は80%以上が肯定的回答をしていました。

「じゅぎょうでよくてをあげる。」「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける。」の項目では肯定的回答が80%を下回る結果となりました。

#### ○考察

「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい。」の項目では昨年度を7%上回り、肯定的回答が多くみられました。新型コロナウイルスによる規制が大幅に緩和され、たくさんの行事が学校現場に戻りつつあります。今後も座学の授業だけでは学べないことを、様々な体験活動等を通して深めていけるような教育カリキュラムを組み立てていこうと計画している段階です。

また、「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」では、昨年と同等の結果が得られました。一方で、「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける。」では、肯定的回答が昨年度より4%下回る結果となりました。この2項目については、学習環境に関わってくる項目でもあると考えます。今後は一層、豊かな人間関係の中で安心して暮らせる学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

「じゅぎょうでアイパッドをつかっている」の項目については、肯定的回答が昨年度より8%上回りました。一人一台の端末が当たり前時代になってますます iPad が「文房具」としての役割を果たすようになりました。デジタルシティズンシップ教育とともにデジタル活用の資質能力の向上に努めてまいりたいと考えています。

### 中学年回答 272(無回答含む)

#### ○結果

全体の概要として全15項目のうち、12項目については「概ね満足している」という回答がありました。昨年度よりポイントが増加しているのは、「学校に行くのは楽しい。」「先生は、私たちの話や意見を聞いて相談に乗ってくれる。」「授業は、分かりやすく楽しい。」「先生は、自分が努力したことを認めてくれる。」「学校行事は楽しい。」「学校では、命の大切さや、人への思いやりを学習している。」「学校では、事件・地震や火災などが起こったときに、どうしたらいいか学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友達がいる。」「校長先生のお話は、分かりやすい。」「授業でアイパッドを使って

いる。」「学校でお家の人や地域の人といっしょに学習することがある。」「あゆみは、分かりやすい。」でした。回答値が90%を超える項目もあり、昨年度から大きくポイントをあげているのは、「授業は、分かりやすく楽しい。」「学校には、遊んだり話したりする友達がいる。」「授業でアイパッドを使っている。」でした。

「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」「授業で分からないことについて、先生や友達に聞ける。」「学校や社会のルールについて勉強している。」の項目は、昨年度より肯定的回答が下回りました。

### ○考察

昨年度から大きくポイントをあげた「授業でアイパッドを使っている。」は、昨年度課題であると捉えた項目であり、児童がiPadでの学習が『学習している』という意識につながってきたのだと感じています。そうしたiPadの活用が「授業は、分かりやすく楽しい。」の肯定回答ポイントの上昇にもつながったとも考えます。今後も、こうした取り組みは継続していきたいと思えます。

また、「学校には、遊んだり話したりする友達がいる。」のポイント上昇については学年・クラスにおける集団づくりの取り組みの成果ではないかと考えます。こちら、より関係が広がっていくように継続した取り組みを行っていきたく思います。

「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」や「授業で分からないことについて、先生や友達に聞ける」の項目については昨年度を下回る回答となっています。児童が主体となる授業の展開や疑問点などを気軽に聞けるような雰囲気づくりなど、授業づくり・学級づくりに努めたいと思えます。

### 高学年 回答241(無回答含む)

### ○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。90%以上の肯定的回答の項目は、「先生は、私たちの話や意見を聞いて、相談に乗ってくれる。」「授業で分からないことについて、先生や友達に聞ける。」「学校や社会のルールについて勉強している。」「先生は、自分が努力したことを認めてくれる。」「学校行事は楽しい。」「学校では、命の大切さや、人への思いやりを学習している。」「学校では、事件・地震や火災などが起こったとき、どうしたらいいか学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」「校長先生のお話は、分かりやすい。」「授業でアイパッドを使っている。」「あゆみは、分かりやすい。」でした。また、昨年度より肯定的回答が上回った項目は、13項目ありました。

昨年度より、肯定的な回答が低かった項目は、「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」「学校や社会のルールについて勉強している。」の2項目でした。

### ○考察

「授業でアイパッドを使っている。」の肯定的回答は、90%を超える結果となりました。そのうち、70%が「満足している」と回答しています。それは、昨年度よりもアイパッドを活用した学習を全学年で進めていることが要因です。

一方、授業に関する設問では、「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」の項目が昨年度より肯定的回答が下回っています。

この結果を受けて、ペアやグループでの交流の中で、自分の考えを伝えられるような時間や一人一人の発表する時間を大切にし、授業を進めていきたいと思えます。

この学校アンケートは、児童(低・中・高別)・保護者・教職員からのアンケート結果から、学校としての課題を整理し、結果を考察し、今後の教育活動・学校運営に活かすためのものとして実施しています。

学校の状況や教育に関する情報は、学校・学年により、学校ホームページ・ブログなどを利用しながら、日々の子どもたちの様子や学校の取組について、お伝えしていますのでご覧いただけたらと思います。また、家庭からのご質問やご意見がございましたら、いつでも担任までお寄せいただき、大切な情報はしっかりと共有していきたいと思えます。

本校では、すべての子の学びを保障し、仲間とつながりながら成長していける人間の形成をめざして、日々の教育活動を進めています。今後もこの目標に向けて特色ある教育活動に取り組むとともに、子どもたちがより意欲的に活動できるよう工夫に努めてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。